

平成27年度決算をお知らせ

市では、市のお金がどのように使われているかを知っていただくために財政状況の公表を行っています。広報今号では平成27年度の決算状況をお知らせします。詳細は市HPをご覧ください。

問 財政課 代表

平成27年度に実施した新規事業および充実させた事業

平成27年度に実施した新規事業および充実させた事業のうち、主なものを掲載します。

1. 参画と協働のまち…およそ10億9,000万円

- ・「日野市人口ビジョン」と「日野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定
- ・公共施設総合管理計画の策定に向けた準備(市民アンケート調査、固定資産台帳整備など)
- ・第5次日野市基本構想・基本計画(2020プラン)後期計画の策定など

2. 子どもが輝くまち…およそ18億5,000万円

- ・放課後子ども教室スーパーひのっち「なつひの」の4校実施
- ・保育園の待機児童解消(保育園の定員拡大と認証保育所開設)
- ・総合教育会議の設置と大綱の策定
- ・安全で安心な学校施設整備の推進 など

3. 健やかでともに支えあうまち…およそ13億7,000万円

- ・「にこわーく」障害者生活・就労支援センターの開設
- ・第3期「日野人げんき！」プランの策定
- ・日野市国民健康保険データヘルス計画の策定
- ・歩きたくなるまちづくりの推進 など

4. 日野人・日野文化を育てるまち…およそ8,000万円

- ・戦後70周年平和事業の実施
- ・図書館開設50周年記念事業
- ・2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた関

連事業の実施 など

5. 自然と調和した環境に優しいまち…およそ11億5,000万円

- ・ごみ処理広域化のため、日野市、国分寺市、小金井市の3市による一部事務組合「浅川清流環境組合」の設立、新可燃ごみ処理施設の建設準備、周辺環境整備
- ・日野市生物多様性地域戦略の策定に向けた準備
- ・(仮称)東豊田複合施設の設計 など

6. 安全で安心して暮せるまち…およそ6億4,000万円

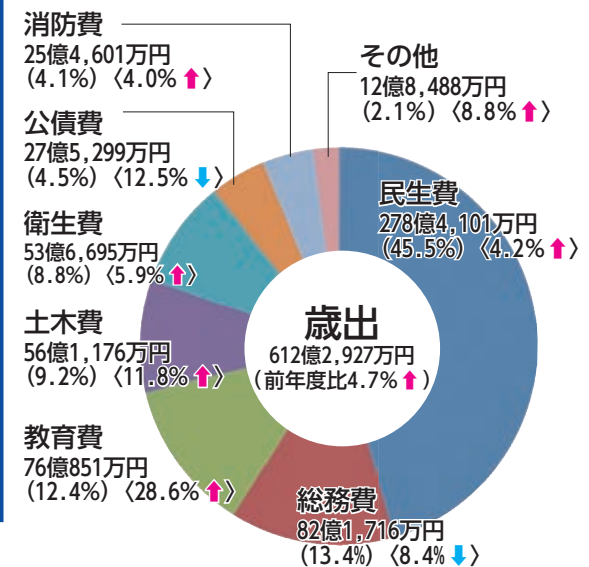
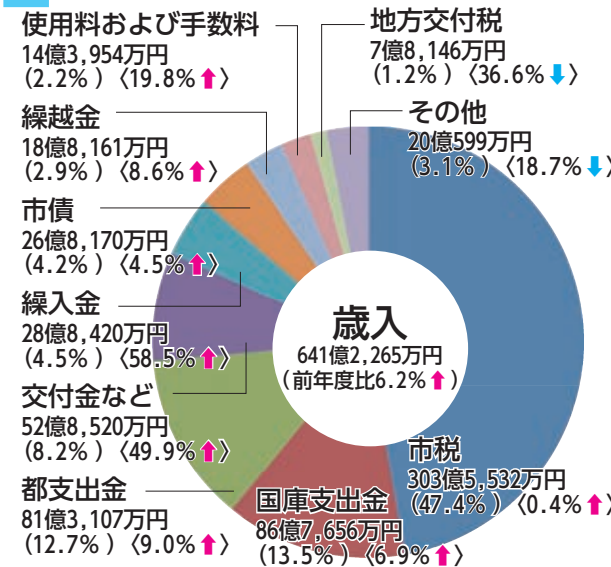
- ・社会保障・税番号制度の円滑な導入とコンビニ証明書交付サービスの開始
- ・街頭防犯カメラの整備(日野駅・豊田駅・高幡不動駅)
- ・消防団活動体制の充実 など

7. 地域の魅力を活かした活気あるまち…およそ53億円

- ・多摩平の森産業連携センターPlanTの開設
- ・TOYODA BEER復刻プロジェクトの実施
- ・空き家に関する対策計画の策定および条例の制定に向けた準備
- ・企業立地支援制度の導入 など

一般会計

()内は構成比、< >内は対前年度比



特別会計

会計名	歳入(対前年度比)	歳出(対前年度比)
国民健康保険特別会計	202億2,272万円(13.8%↑)	200億5,822万円(14.5%↑)
土地区画整理事業特別会計	49億2,654万円(22.8%↑)	46億8,431万円(27.4%↑)
下水道事業特別会計	51億8,972万円(5.9%↑)	50億8,802万円(6.0%↑)
介護保険特別会計	117億8,309万円(2.8%↑)	117億7,742万円(3.0%↑)
後期高齢者医療特別会計	37億7,890万円(6.2%↑)	37億6,382万円(8.5%↑)
市立病院事業会計	88億446万円(6.4%↑)	95億4,965万円(0.9%↑)
合計	547億544万円(9.5%↑)	549億2,144万円(9.0%↑)

※金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります

総額

	歳入(対前年度比)	歳出(対前年度比)
一般会計	641億2,265万円(6.2%↑)	612億2,927万円(4.7%↑)
特別会計	547億544万円(9.5%↑)	549億2,144万円(9.0%↑)
合計	1,188億2,809万円(7.7%↑)	1,161億5,071万円(6.7%↑)

平成27年度事業別コスト計算書

事業別コスト計算書は、市民に身近な行政サービスの1年間のコストと、どのような収入で賄われたか、また、利用者1人当たりなどの単位コストはいくらになるのかを明らかにしています。ここでは、図書館の例を掲載します。

(例) 図書館

(1) 年間コストの内訳

区分	金額	
	平成27年度	平成26年度
給料職員手当等	2億6,508万1,345円	2億7,569万5,340円
管理運営経費	2億1,007万244円	2億1,121万8,722円
減価償却費	1,366万2,525円	1,366万2,525円
合計	4億8,881万4,114円	5億57万6,587円

(2) 収入の内訳

区分	金額	
	平成27年度	平成26年度
乾式複写機使用料	132万7,130円	137万円0,000円
市史資料集等	30万1,400円	33万6,760円
その他収入	22万1,744円	13万4,261円
合計	185万274円	184万1,021円

(3) 純コスト(一般財源) [(1)-(2)]

区分	金額	
	平成27年度	平成26年度
純コスト(一般財源)	4億8,696万3,840円	4億9,873万5,566円

(4) 利用の状況

区分	人数	
	平成27年度	平成26年度
延べ利用者数	47万4,271人	46万3,964人

(5) 単位コスト※1の内訳

① 利用者1人当たりの経費	平成27年度	平成26年度
総コスト ※2	1,031円	1,079円
うち一般財源 ※3	1,027円	1,075円

② 市民1人当たりの経費 ※4	平成27年度	平成26年度
総コスト ※2	2,672円	2,751円
うち一般財源 ※3	2,662円	2,741円

※1 単位コスト

…1年間のコストを利用人数などの指標および日野市の人口で割って算出した数値です。利用人数など、事業に直接関係するコストだけでなく、市民1人当たりのコストも併せて算出しています。

※2 総コスト

…年間コストを利用人数などの指標および日野市の人口で割って算出した数値です。

※3 うち一般財源(純コスト)

…年間コストから収入を差引いた後の金額を、利用人数などの指標および日野市の人口で割って算出した数値です。

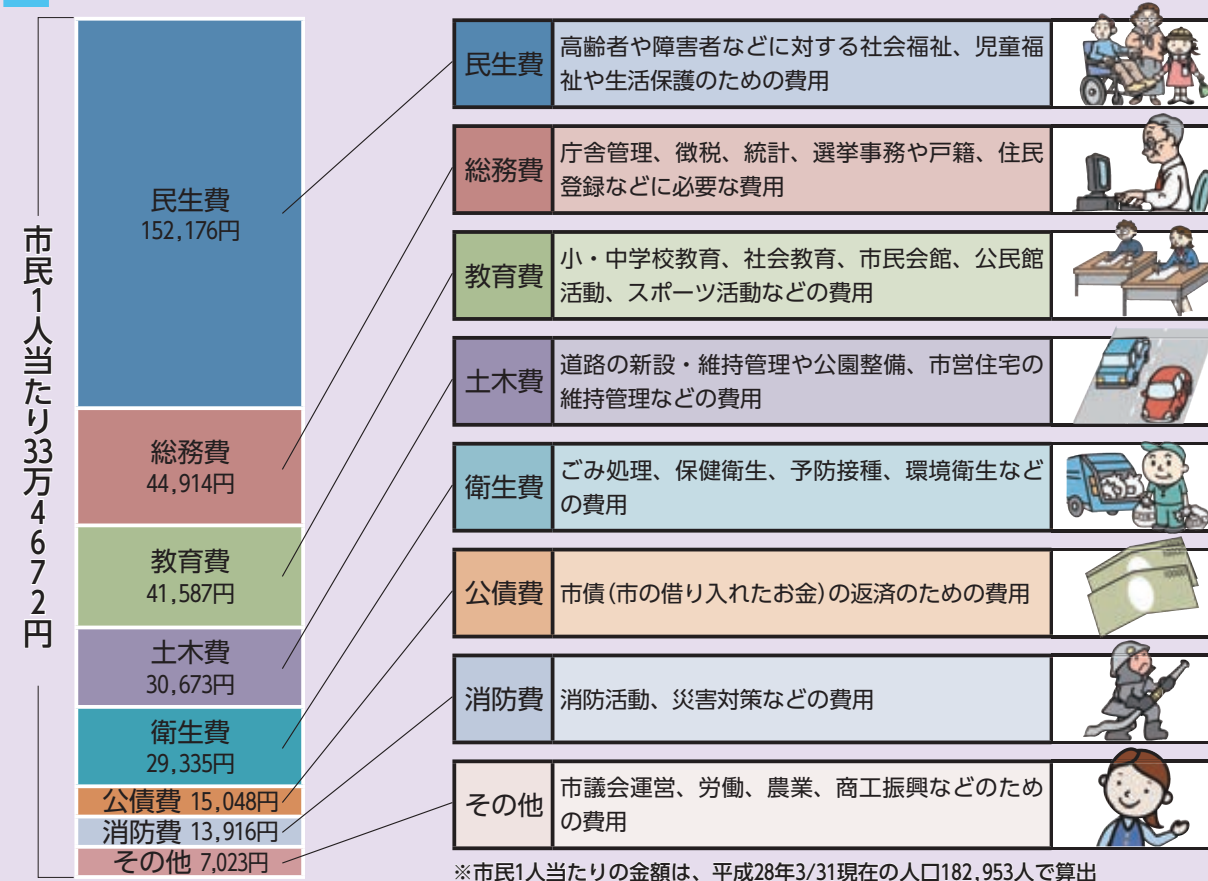
※4 市民1人当たりの経費

…分母となる日野市の人口は、いずれも年度末(3/31)時点の住民基本台帳による人数です。

平成27年度: 182,953人

平成26年度: 181,936人

歳出を市民1人当たりで見ると



※市民1人当たりの金額は、平成28年3/31現在の人口182,953人で算出